

おぶせ交流館(長野県小布施町)

映像クリエイターのワークステイ拠点整備事業

作成時点：令和8年3月

休養施設 ▶ 宿泊施設等

基本情報



位置図

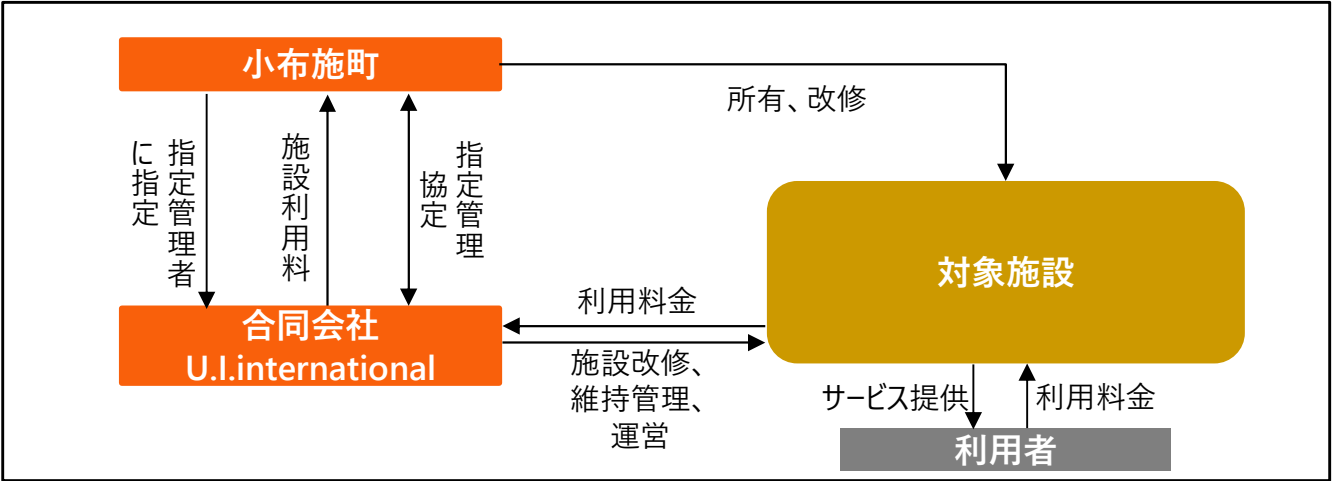
長野県上高井郡小布施町雁田605



出所：電子国土基本図（国土地理院）を加工して作成

事業主体	長野県上高井郡小布施町（人口：10,819人 ※令和8年3月現在）
事業手法	指定管理者制度
民間事業者の業務内容	- 施設改修業務（施設の改修、設備の導入など） - 運営業務（利用の許可、取り消しに関する業務等） - 維持管理業務（清掃、保守、備品等の管理）
事業期間	約5年間（令和8年4月～令和13年3月）※令和3年から開始し、現在2期目
事業費等	- 改修費 9百万円 - 施設利用料 約1百万円/年
活用した補助金	地方創生加速化交付金 9百万円
事業者	一般社団法人ハウスホクサイ（令和3年4月～令和8年3月） 合同会社.U.I.international（令和8年4月～）
事業経緯	- 平成27年 町が施設の改修を実施 - 平成29年 「小布施若者会議」にて活用に関する検討が開始される - 平成30年4月 地域おこし協力隊により供用開始 - 令和3年4月 指定管理者制度へ移行し、一般社団法人ハウスホクサイが運営 - 令和8年4月 指定管理者を変更し、同会社.U.I.internationalが運営

事業スキーム図



掲載内容に関する
問合せ先

小布施町 企画財政課 企画交流係
TEL：026-214-9102
Email：kouryuu@town.obuse.nagano.jp

おぶせ交流館(長野県小布施町)

作成時点：令和8年3月

休養施設

宿泊施設等

検討経緯

- 農業従事者向けの地域休養センターであった施設が老朽化し、一時的にギャラリーとして活用していたが、利用は低迷していた。その後、平成27年に町が施設の一部を中長期滞在型のお試し移住用宿泊施設に改装したが、利用状況は大きく改善しなかった。
- 平成29年、町外から35歳以下の若者が集まり地域課題等を議論する「小布施若者会議」にて、施設の活用検討が開始された。翌30年4月より、会議参加者であった地域おこし協力隊の1人が、施設2階を宿泊施設、1階をコワーキングスペース（自主事業）として運営を開始。運営者は、地域おこし協力隊の任期（～令和元年3月末）終了後も町に残り、翌4月からは指定管理者の代表として継続し運営に携わった。

取組のポイント

- 地域おこし協力隊であった運営者の任期終了後、同人が立ち上げた組織を指定管理者とし、蓄積されたノウハウをいかして1階と2階の一体的な施設運営を実現した。
- 改修に際して初期投資は抑え、補助金を活用しながら徐々に空間整備を進めた。また、施設は作り込み過ぎずに最低限の機能を整備するに留め、利用者による空間利用の創意工夫余地を残している。同じく利用ルールも運営上最低限の内容に留めている。
- 運営者は、主なターゲットであるクリエイターのニーズ対応に注力するために、町に利用料を支払う事業形態とすることで運営の裁量を確保した。
- 運営者は地域外からの利用者に対し、各自の専門性や生活スタイル等を踏まえて、地域での仕事の紹介やネットワーキングをフォローし、利用者と地域をつないできた。令和7年度からは、コワーキングスペースのメインユーザーの1社が新たな指定管理者となる。

得られた効果

- 主なターゲットであるクリエイターへのサービス提供に注力することで、エンジニアや映画監督等、地域で活動する幅広い層の人々を地域と密に繋ぐことに成功し、二地域居住者・移住者の増加につながっている。
- 運営者が、提供する機能やルールによる制約を意図的に抑えた結果、不足する機能を創意工夫によって自ら補おうという志向を持つ主体的な人材が集まった。空間や追加設備等について、運営者と利用者が協働して創出する関係性が創出されている。

■ 利活用前



写真出所 株式会社永井建設提供

■ 利活用後

